

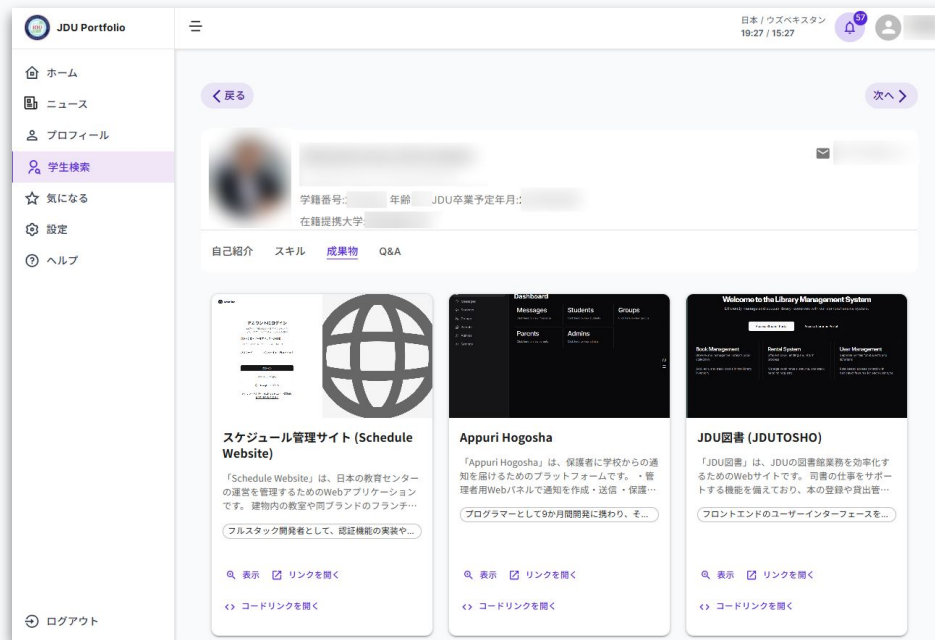
# Webアプリ JDU学生就職支援型 ポートフォリオ

学生が自己紹介、スキル、エビデンスつき実績 (GitHub等)を入力・公開。リクルーターがアクセスし、採用 / 選考活動に役立てていただくシステム。学生のスキル・適正をより把握でき、採用のミスマッチの軽減を目指す。 JDUが管理する上位システム (kintone)とのバッチ連携、管理者による承認制公開システムなどの機能も備える。

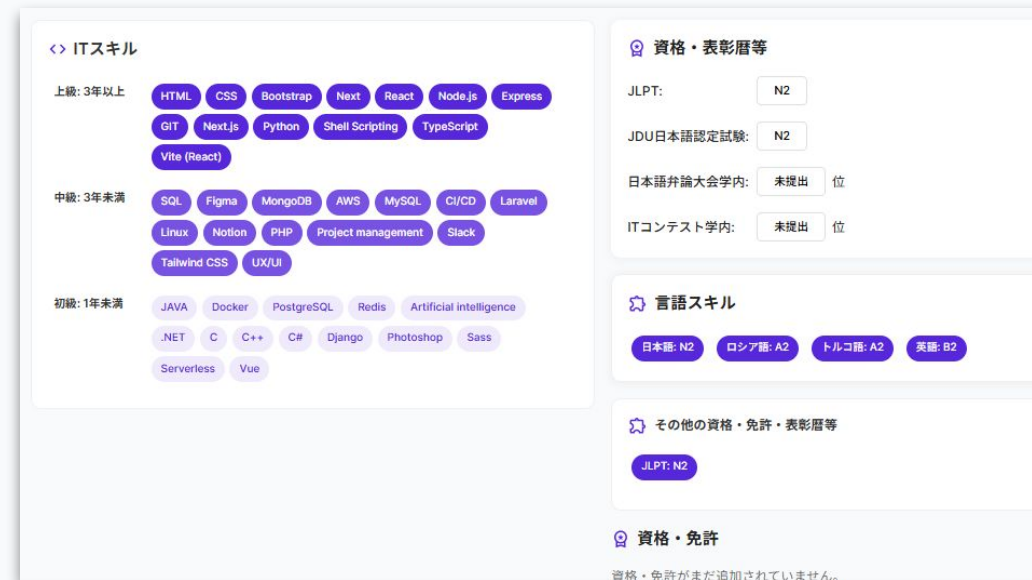
新規構築, 言語:JavaScript,HTML,CSS / ライブラリ:React / データベース:MySQL / その他:Express.js, AWS SES,AWS S3,Kintone(連携), googleアカウント(連携)

費用(開発のみ): 1,152,000円

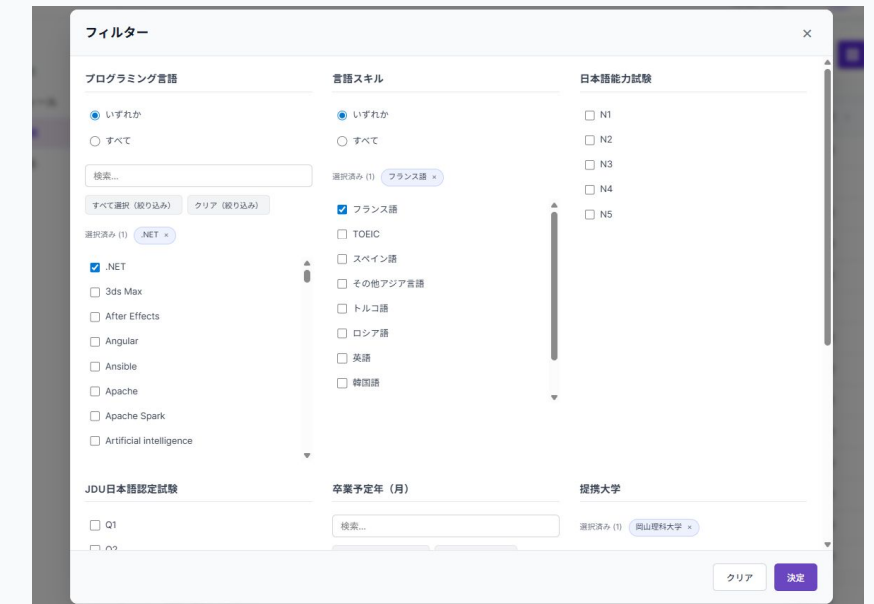
学生稼働: 3名 計120人日



学生の成果物画面: 自身によるエビデンス (GitHubなど)付きの実績をアピール。



学生のスキル画面: 開発技術やデザイン以外のスキルや資格・言語能力なども、使いやすい UIで、簡単にアピール可能。



学生検索画面: リクルーターが求めるスキルを保有する学生を、多彩な条件から検索することができる。

アピールポイント:

Reactによる高速・軽量な UI。googleアカウントによるログイン。4言語対応 (日本語、英語、ウズベク語、ロシア語)。Kintone連携。

## 担当学生からのコメント

バックエンド側の機能全般とREST APIの設計・実装を担当しました。現在はチームリーダーとして、開発全体の進行管理も行っています。AWS SESとcronを使ったメールの自動送信や、KintoneとのWebhook連携によるデータ同期を実装しました。また、サーバーダウン時にメンテナンス画面を表示する仕組みも構築しました。苦労した点としては、項目数や条件が多い検索・フィルター機能の実装に苦労しました。フロント側のstate管理とも密接に関わるため、整合性を保つ点が特に難しかったです。留意した点としては、DevOpsやDSAに強い関心があるため、適切なデータ型の選定やパフォーマンスを意識した設計を心がけました。デプロイや運用面も含めて全体を意識して取り組みました。